最 終 評 価 シ ー ト（案）

基本施策１	地 域 包 括 ケ ア の 仕 組 み づ く り
すべての人を対象とする地域包括ケアシステムの構築に向けて、住まいを基盤とした医療、介護、予防、生活支援といった重要な構成要素を強化し、公的・専門的な相談支援機関と地域における支えあいが連携・協働した包括的かつ継続的な相談支援体制を整備するため、5つの視点から施策を推進する。	

施策の方向性（１）	包 括 的 相 談 支 援 体 制 の 構 築
目指す姿	●地域住民だけでは自ら解決が困難な課題について、身近な地域で包括的に受け止め、関係機関等と連携・協働して適切な支援につなぐ場が整ってい ●複合的な生活課題を抱えるケースに対して、関係機関等が積極的に連携するチームによる個別支援により、包括的な課題解決が図られています。

１５の「施策の方向性」ごとに最終評価シートを作成する。

1　評価・事業の実施状況と成果（令和６年度～７年度）

最終評価	主な取組・事業 に係る評価（評価内訳）	
A	①身近な地域で相談を包括的に受け止める場の整備 【重・相】	A
	②相談支援包括化のための多機関連携強化 【重・相】	A
	③包括的・継続的マネジメント支援の推進 【重・相】	A
	④ソーシャルワーク機能の向上	
	⑤アウトリーチ（地域に出向く支援活動）による支援の充実 【重・相】	A

※評価の目安　A:順調　B:概ね順調　C:あまり順調でない　D:順調でない

「施策の方向性」の「主な取組・事業」①～⑤ごとにA～Dの評価をし、その評価の平均値から「施策の方向性」の最終評価を算出する。
　なお、重層的支援体制整備事業実施計画の評価も兼ねるため、重層的支援体制整備事業の法定事業「Ⅰ．相談支援」「Ⅱ．参加支援」「Ⅲ．地域づくり支援」に関連するものは、それぞれ【重・相】【重・参】【重・地】と示す。

計画後期（令和６年度～７年度）における事業の実施状況や成果を記載する。

2　指標の推移

主な取組・事業	指標名	R4（基準）	R5	R6	R7	R8（予定）	R8（目標）
①身近な地域で相談を包括的に受け止める場の整備	ふくしの総合相談窓口の開設数	0カ所	0カ所	1カ所	2カ所	3カ所	3カ所（各地域に1カ所）
②相談支援包括化のための多機関連携強化	相談支援包括化推進員数				関係各課に1人以上	関係各課に1人以上	関係各課に1人以上
③包括的・継続的マネジメント支援の推進	資質向上型地域ケア会議の開催				年6回	－	継続
④ソーシャルワーク機能の向上	合同研修開催実績				年1回	－	各相談支援機関および区の関係部署ごとに年1回以上
⑤アウトリーチ（地域に出向く支援活動）による支援の充実	地域福祉コーディネーター・生活支援コーディネーターの支援件数	個別支援：延べ1,225件 地域支援：延べ2,411件	個別支援：延べ1,955件 地域支援：延べ2,739件	個別支援：延べ2,112件 地域支援：延べ1,951件	個別支援：延べ2,112件 地域支援：延べ1,951件	－	拡大

「主な取組・事業」ごとに定める指標について、推移と目標値を比較する。

3　課題

次期計画に向けて解決すべき課題や社会情勢の変化等により生じた新たな課題を記載する。

4　今後の方向性

課題を踏まえ、2027年以降の事業の方向性を記載する。

5　推進委員会による評価・意見等

１～４を踏まえ、推進委員会による事業評価を実施する。